

林木育種場

○育種種子生産事業

採取園、樹種別造成面積

樹種別	造成面積	植栽本数	造成年度	クローン数
スギ	8.40 ^{ヘクタール}	2,932本	S43~S51	25
ヒノキ	16.20	6,103	S39~S50	29
アカマツ	1.50	800	S38~S60	25
クロマツ	0.50	200	S61	16
計	26.60	10,035		



写真-1 採種園



写真-2 球果採取



写真-3 球果乾燥と種子精選



写真-4 発芽試験

育種種子生産実績 (スギ、ヒノキ) 単位 kg

樹種	年度	S49~ S53	S54~ S58	S59~ S63	H元~ H4	合計
	スギ		38.0	68.0	102.0	
ヒノキ		190.0	808.0	1,166.0	886.0	3,050.0

○精英樹等苗木生産事業

採穂園造成

樹種別	造成面積	植栽本数	造成年度	クローン数
スギ	1.00 ^{ヘクタール}	4,400本	S35～S36	15

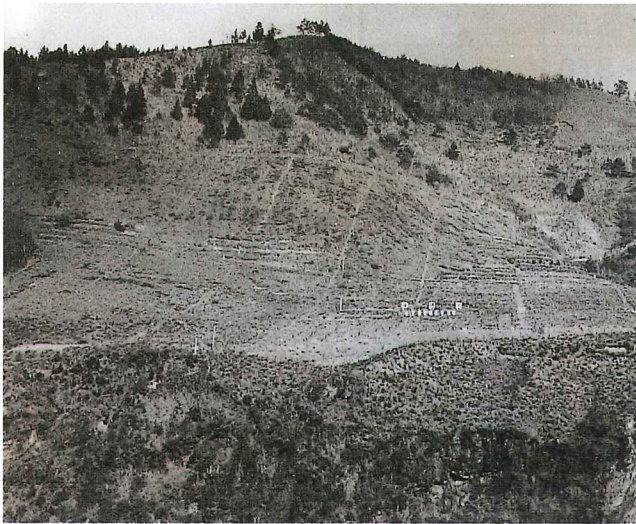


写真-5 採穂園（設定当時）



写真-6 採穂園（現在）



写真-7 スギ挿木風景



写真-8 山行苗木の根切風景

精英樹苗木生産実績（スギ、ヒノキ）単位本

種別	年度				合計
	S49～53	S54～58	S59～63	H元～4	
スギ稚苗	61,500	40,100	0	0	101,600
ヒノキ稚苗	875,800	873,400	0	0	1,749,200
スギ挿木山行苗	198,500	190,000	258,800	178,300	825,600
スギ実生山行苗	87,300	20,900	4,400	2,100	114,700
ヒノキ実生山行苗	390,800	154,700	35,200	34,400	615,100

○地域特性品種育成事業

県下各地域の森林に成育する特用樹等の中からウバメガシ、コウヤマキ、テンダイウヤクの探索、選抜を行い普及する事を目的としてクローン増殖を行っている。



写真-9 ウバメガシ



写真-10 挿木による増殖



写真-11 コウヤマキ

○採種園カメムシ対策事業

スギ、ヒノキの優良な育種種子の安定供給を図っているが近年カメムシ類等の被害による発芽率の低下が見られこのためカメムシ類等の被害実態調査と防除体系を確立すべく本事業を実施している。



写真-12
ヒノキ球果に飛来したチャバネアオカメムシ



写真-13 防虫網かけ作業



写真-14 ソーラー電気による採種園の害虫調査

○有用緑化広葉樹拡大促進事業

本県に分布する広葉樹の中から有用な遺伝形質を有する個体を選抜し保存するとともに、これらの増殖、育苗を実施し有用緑化広葉樹の利用拡大を推進する。

保存園の現況 (1.00ヘクタール)

NO	樹種	本数	NO	樹種	本数	NO	樹種	本数	NO	樹種	本数
1	アカガシ	7	19	クスノキ	7	37	オニグルミ	6	55	ヒサカキ	6
2	アラカシ	6	20	テンダイウヤク	6	38	カナメモチ	6	56	ヒメシャラ	6
3	イチイガシ	8	21	ヤブニッケイ	6	39	キハダ	6	57	ブナ	6
4	ウラジロガシ	6	22	ヤマザクラ	6	40	クロガネモチ	6	58	マタタビ	6
5	シラカシ	6	23	ユズリハ	6	41	クチナシ	6	59	シャリンバイ	6
6	ツクバネガシ	8	24	ミズキ	8	42	クサギ	6	60	ミズメ	6
7	コナラ	8	25	アオキ	6	43	アカンデ	6	61	ムクロジ	6
8	クヌギ	6	26	タラノキ	6	44	クロモジ	6	62	モッコク	6
9	ウバメガシ	6	27	アカメガシワ	6	45	ケケンボナシ	6	63	ヤマモモ	6
10	ツブラジイ	7	28	アオダモ	6	46	サンショウ	6	64	ヤブツバキ	6
11	マテバシイ	7	29	アセビ	6	47	サカキ	6	65	トウキササゲ	★6
12	シリブカガシ	6	30	イロハカエデ	6	48	センダン	6	66	カイノキ	★6
13	ケヤキ	6	31	イイギリ	6	49	トベラ	6	67	ハグマノキ	★6
14	ムクノキ	6	32	イタヤカエデ	6	50	ハゼノキ	6	68	ロウテンヤナギ	★6
15	トチノキ	6	33	イボタノキ	6	51	ナンテン	6	69	モウハクポプラ	★6
16	ホオノキ	6	34	エゴノキ	6	52	ヌルデ	6	70	チャンチン	★6
17	オガタマノキ	6	35	ビワ	6	53	ネズミモチ	6	71	トチュウ	★6
18	シキミ	8	36	イスノキ	6	54	ネムノキ	6	72	モクセイ	★6

★印は中国産樹種



写真-15 保存園

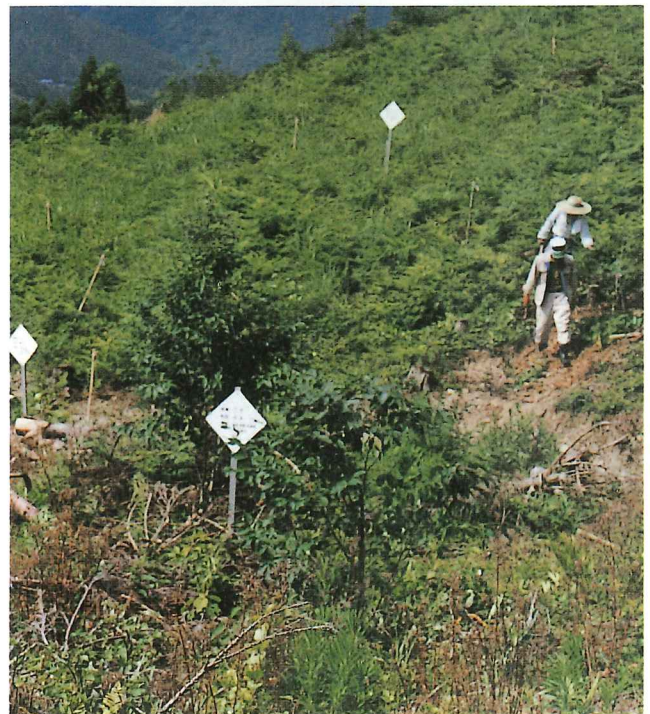


写真-16 保存園造成風景

○次代検定林

精英樹によるスギ挿木苗と、育種種子による実生苗の遺伝特性及び地域環境に対する適応性を検定するため、県下に30ヶ所の次代検定林を設定して5ヶ年毎に調査を行っている。なお、県外精英樹についても適応性を調査するため県内3ヶ所に地域差検定林を設定し次代検定林とともに調査中。

次代検定林設定表

樹種	設定年度	検定林名	設定面積	樹種	設定年度	検定林名	設定面積
スギ	44	関西和スギ1号	1.5 ^{ヘクタール}	ヒノキ	45	関西和ヒノキ1号	1.5 ^{ヘクタール}
〃	〃	〃 2号	1.5	〃	〃	〃 2号	〃
〃	〃	〃 3号	1.5	〃	47	〃 3号	〃
〃	45	〃 4号	1.0	〃	〃	〃 4号	〃
〃	〃	〃 5号	1.0	〃	〃	〃 5号	〃
〃	〃	〃 6号	1.0	〃	48	〃 6号	〃
〃	46	〃 7号	1.5	〃	〃	〃 7号	〃
〃	〃	〃 8号	1.5	〃	〃	〃 8号	〃
〃	〃	〃 9号	1.5	〃	49	〃 9号	〃
〃	47	〃 10号	1.5	〃	〃	〃 10号	〃
〃	48	〃 11号	1.5	〃	50	〃 11号	〃
〃	〃	〃 12号	1.5	〃	〃	〃 12号	〃
〃	49	〃 13号	1.5	〃	〃	〃 13号	〃
〃	52	〃 14号	1.0	〃	51	〃 14号	〃
〃	〃	〃 15号	1.0	〃	〃	〃 15号	1.0

地域差検定林設定ヶ所表

樹種	設定年度	設定面積
スギ	47	0.32 ^{ヘクタール}
〃	48	0.32
〃	49	0.32



写真-17 検定林設定風景

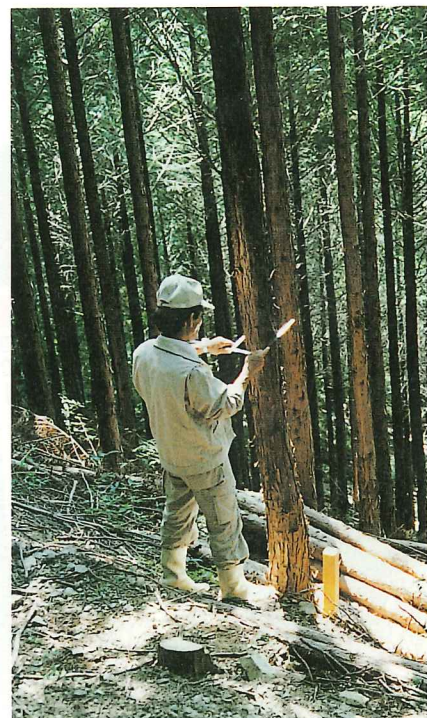


写真-18 検定林の調査

○マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業



写真-19 マツノザイセンチュウ接種作業



写真-20 人工交配作業

○シイタケ原木育種事業



写真-21 コナラ原木によるしいたけ栽培試験



写真-22 植菌作業